

# 平成 19 年度事業報告書

平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 奥州街道会議

## 1 総括

法人設立から 2 期目となる平成 19 年度は、事業数、事業費ともに平成 18 年度の 2 倍以上の実績となった。

実施方針のうち 1 奥州街道関連資源調査・整備事業、2 街道資源を活用しての地域振興事業は、岩手県から宮城県への奥州街道調査の拡大、交流大会やウォーキングツアーの開催等、当初目標を十分に達成することができた。3 ネットワーク事業についても、交流・連携の推進とともに達成できたものとする。

また、4 会員拡大事業では、今年度開催した交流大会や探訪会の開催、マップの周知広報等を通じ、一般の問合せが増加した結果、新たな個人会員の獲得につながった。また、宮城県、栗原市、青森県と、各県での新たな会の設立も増えた。事前準備や設立には当法人の会員も積極的にかわり、支援を行った。

2 年間の事業実施を通じて、事業方針、会員、協力団体・個人のあり方等、次年度の課題が明確になってきている。事業が拡大し、業務量や活動地域の範囲が拡大したことで、実行体制の見直しや各県団体や個人の協力獲得が必要となる。事業の発展と同時に、地域主体の地域づくり活動支援をより推進するため、次年度は各県のパートナー団体との連携強化、個人のサポーター等の体制を検討する必要がある。



## 2 事業概要報告ならびに自己評価

※評価の目安

評価	目的値を十二分に達成	目標値を達成	目標値を概ね達成	改善が必要	未了
点数	5 点	4 点	3 点	2 点	1 点

各事業内容ならびに自己評価

定款の事業名	平成 19 年度事業計画	平成 19 年度業務内容	評価／要因
<p>(1) 奥州街道に関する交流連携促進の実践と支援事業</p>	<p>奥州街道に係る資源調査・整備事業</p>	<p>①平成 17 年・18 年の岩手県内の資源調査結果をとりまとめ、県内全域のマップを作成した。交流大会での配布、探訪会で使用するほか、問合せのあった団体・個人へ配布した。</p> <p>【平成 19 年度】 使用 1,800 部／作成 10,000 部</p> <p style="text-align: right;">↓「奥州街道紀行」H18.5 発行</p>  <p>②宮城県内の基礎資料収集、資源調査</p> <p>宮城県内において、新たに街道資源調査を開始した。宮城県内全域の資源調査と栗原地区の詳細調査を実施し、活用策の提言を行った。</p> <p>(平成 19 年度 奥州街道基礎資料収集業務：仙台河川国道事務所にて実施)</p>	<p>4</p>
	<p>街道交流フォーラム運営事業</p>	<p>①「とうほく街道会議」第 3 回交流会・岩手大会の開催:11 月 3 日</p> <p>東北地域の街道に関する活動団体の交流機会「とうほく街道会議」第 3 回交流会・岩手大会の実行委員会事務局を担った。</p> <p>基調講演、分科会、探訪会という流れを汲んだが、分科会テーマに岩手らしさを</p>	<p>(評価は次ページ参照)</p>

(1) 奥州街道に関する交流連携促進の実践と支援事業	街道交流フォーラム運営事業	<p>盛り込む、テーマを街道のみならず道に広げる、探訪会を2コースとするなど岩手独自の工夫を凝らした。(下表参照)</p> <p>NPO、民間、行政から構成される事務局メンバーと共に、企画団体から議論を重ね、準備、当日運営などを通じて非常に良い協働関係が構築された。</p> <p>また、前回大会の評価を企画へ反映させるとともに、終了後も事務局評価シートを作成し、成果と反省点を議論、明確にして次回大会への提言をまとめた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">交流会参加者</td> <td>交流会:308名/分科会:173名/街道談義:79名</td> </tr> <tr> <td>探訪会参加者</td> <td>県北コース:18名 盛岡コース:28名</td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>(当日の様子より: 第2分科会)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アトラクションのさんさ踊り)</p> </div> </div>	交流会参加者	交流会:308名/分科会:173名/街道談義:79名	探訪会参加者	県北コース:18名 盛岡コース:28名	5	事務局メンバー間で資源、役割等適切な分担のもと協働で実施し、民間主導型の良い事例が出来た。
	交流会参加者	交流会:308名/分科会:173名/街道談義:79名						
探訪会参加者	県北コース:18名 盛岡コース:28名							
ネットワーク構築モデル事業	<p>平成18年度より提言している「いわて・みち・ネット」のワークショップを2地区(紫波町日詰地区、花巻市好地地区)において実施。</p> <p>当日は地域住民、NPO、行政(国・県・市町村)が参加し、同じテーブルで地域の課題、改善策や役割分担などを話し合い、意見交換と共有がなされた。また、具体的な提案も生まれたが、活動は平成20年度より開始される予定である。</p> <p>いずれの地区も奥州街道の宿場として栄えた町の歴史を活用した地域づくりを検討しており、今後は同様の地域とのネットワークかも支援していく予定である。</p>	3	活動が開始されるという当初目標には至らなかったため。					

(2) 道を活用した  
地域づくり活性化  
の実践と支援事業

ウォーキングツアーの  
実施

①「とうほく街道会議」第3回交流会・岩手大会での探訪会開催支援(11月3日)



第1コース:一戸町



第2コース:盛岡市

1	<b>開催地:</b> 一戸町～二戸市	<b>関連する街道:</b> 奥州街道
<p><b>内容:</b> 解説とともに一戸町の浪打峠、二戸市の蓑ヶ坂を中心に街道資源を探訪。一戸町教育委員会、二戸市にはガイドと連絡調整の協力を、二戸市釜沢地区には昼食の郷土料理や出前産直実施の協力を得た。</p> <p><b>成果:</b> アンケート結果より、100%の満足を得ることが出来た。(非常に良いまたは良い) 同地域では行政との関係は構築され、地元の理解と協力も得ている。探訪会を開催するのは2年目であり、今後は多様なコース設定や、地域と連携した受け入れ体制の整備など発展的な展開が考えられる。</p>		
2	<b>開催地:</b> 盛岡市内～紫波町	<b>関連する組織:</b> 奥州街道・稲荷街道
<p><b>内容:</b> 盛岡市内のまち歩きの新しい切り口として、市内に残る街道をテーマに開催。半日を盛岡市内に、午後は稲荷街道を歩く会と連携して、市内～紫波町までのコースをバスで巡った。</p> <p><b>成果:</b> 盛岡市や他の街道を対象にした活動団体との連携やガイドの発掘が成果となった。参加者の満足度は90%だが、要望や改善提案を反映して半日コースを設けるなど、商品造成の可能性が広がった。</p>		

4


実証実験的に、  
活動内容から今  
後につながる展  
望が見い出せ  
たため。

	ウォーキングツアーの実施	<p>②釜石鉄の道探訪ウォーキング(自主事業) :11月23日</p> <p>新仙人道路の開通や、釜石市の近代製鉄発祥150周年と合わせて、市民の自発的な活動を啓発するため、「鉄」と「道」をキーワードにイベントを開催した。</p> <p>イベントでのPRやマスコミを活用した広報の結果、当日はガイド、スタッフ含めて66名の参加となり、当日の反響も大きかった。</p> <p>当日は安全対策上コース変更を行ったが、90%が「良かった・非常に良かった」というアンケート回答を行っており、</p> <p>このイベントをきっかけに釜石や製鉄の歴史に関心を持った参加者も多く、製鉄とともに歩んだ釜石・仙人峠の歴史を学び、今後も実施してほしい、ぜひ参加したいという要望も多く、関心の高いイベントとしての手ごたえが感じられた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(国道283号から見た釜石鉱山)</p>	<p>行政(釜石地方振興局)との非常に良い連携が構築された。</p> <p>その後の活動へ契機となった。</p> <p style="text-align: center;">5</p>
		<p>③1周年記念イベント(自主):5月26日</p> <p>1周年記念講演会と合わせて実施。国見峠・仙岩峠の明治・江戸の道を歩く街道探訪会が行い、約40名が参加した。</p> <p>講師ガイドに秋田・岩手横軸連携交流会、雫石町教育委員会の協力を得て、ヒヤ湯に纏わる竜伝説、助小屋の役割、現存する江戸・明治・大正の街道の解説を受けた。参加者からはガイドの説明が良く勉強になった、等反響が大きかった。</p>	<p>・100%の参加者満足度を得ることが出来たため。</p> <p>・秋田岩手横軸連携交流会との</p> <p style="text-align: center;">5</p>



		 <p>助小屋跡</p>  <p>仙岩峠貫通記念碑</p>  <p>左・・・現在の連絡道</p>  <p>右・・・江戸の道 あねっこ弁当</p>	<p>連携のきっかけとなったため。</p>
	<p>日本風景街道への取り組み</p>	<p>設立当初の目標通り、登録募集へ応募。「奥州街道 温故知新の道」としてルート登録を受け、報道により広く周知される結果となった。</p> <p>今年度は二戸市と連携して探訪会の開催、対象地域(二戸市釜沢地区)との意見交換を行い、受け入れ体制整備や地域住民自らの道普請の希望を聞き出すことが出来た。また、情報発信のツールとして、ホームページ上のカレンダーやブログを作成。今後は情報をより充実させるとともに周知を行う必要がある。</p>	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信が不十分のため。</li> <li>・事業計画立案、進捗が予定より後にずれ込んだため。</li> </ul>

<p>(3) 道に関する政策提言事業</p>	<p>活動活性化手法の検討・提言</p>	<p>①携帯電話を活用した情報発信の仕組み</p> <p>携帯電話を活用し、現地の情報を手軽に得られるシステムを提言、作成した。平成19年度はベースとなるホームページの作成と、試行的に情報を追加した。実際にモニター利用者の意見を反映させていく必要がある。</p> <p>また、今後は情報量を増やしつつ、地域団体等と連携してより有用な、また、独自性をもった情報を追加するような仕組みも構築していきたい。</p> <p>(平成19年度 奥州街道活性化業務により一部実施)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>サイトURL  <a href="http://www.ousyukaidou.jp/ubiquitous/">http://www.ousyukaidou.jp/ubiquitous/</a></p>	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システムの構築は終了したが、作成段階での協働先との協議が不十分だったため。</li> <li>・今後の課題や発展の可能性も多く残るため。</li> </ul>
<p>(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>1周年記念講演会の開催</p>	<p>盛岡市において5月25日に開催。歴史作家 星亮一先生の「奥羽越列藩同盟から東北の明日を考える」をテーマに、東北を元気にするための基調講演を開催。</p> <p>また、一戸町教育委員会、奥州市の仙北街道を歩く会、奥州街道会議の活動報告、街道談義を開催。翌日の探訪会ともに好評を得た。</p> <p>(参加者数 基調講演:172名/街道談義:36名)</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画準備～当日運営までを効率的に実施することが出来た</li> <li>・活動周知と、交流大会のプレイベントという目的は達せられた。</li> </ul>

(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業														
	<p>活動紹介 HP の開設・メール等での情報発信</p> <p>①各県マスコミによる広報 マップ(奥州街道紀行)作成、岩手大会、宮城の調査業務の周知や当日の様子が各新聞紙面で紹介された。マップ紹介時には問合せが殺到した。</p> <p>②資源情報のホームページ作成 奥州街道活性化業務、日本風景街道の各事業で作成。情報発信と、より有効な情報受発信のしくみ構築、法人ホームページとの連携が上げられる。</p> <p>③団体情報の紹介 交流大会、研修会等での活動報告会等参加 4 回、講座講師 1 回、街道に関する講演会講師 1 回を実施。</p>	<p>4</p> <p>イベント等積極的に情報発信した結果、集客や団体 PR への成果はあった。</p> <p>しかし日常的な情報発信が課題として残った。</p>												
<p>会員拡大(各地域の団体)</p>	<p>①各県の団体設立支援 平成 19 年度中に設立した 3 団体の設立支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="831 1086 1697 1286"> <thead> <tr> <th>団体名</th> <th>設立</th> <th>活動範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>みやぎ街道交流会</td> <td>H19.5</td> <td>宮城県内</td> </tr> <tr> <td>くりはら街道会議</td> <td>H20.2</td> <td>栗原地域</td> </tr> <tr> <td>あおもりかいどう会議</td> <td>H20.3</td> <td>青森県内(街道、舟運)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②各地域団体との連携 他地域のイベントへ相互参加し、交流を深めている。</p>	団体名	設立	活動範囲	みやぎ街道交流会	H19.5	宮城県内	くりはら街道会議	H20.2	栗原地域	あおもりかいどう会議	H20.3	青森県内(街道、舟運)	<p>3</p> <p>新規団体や、各県団体との連携は十分にできたが、会員とのコミュニケーションが不十分だったため。</p>
団体名	設立	活動範囲												
みやぎ街道交流会	H19.5	宮城県内												
くりはら街道会議	H20.2	栗原地域												
あおもりかいどう会議	H20.3	青森県内(街道、舟運)												



<p>(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>団体運營業務</p>	<p>①仙台市内(みやぎ NPO プラザ内)への宮城事務所開設      仙台事務所を開設するため、みやぎ NPO プラザ内の貸事務所へ応募。平成 20 年 4 月より事務所開設が決定した。(4 月 5 日より入居済)</p> <p>②他団体との連携事業</p> <p>(ア)「東北ろうきん NPO パートナーシップ制度」への参加      ボランティアの受入団体として、受入協力を行った。東北全体でのボランティア実施者 11 名中 4 名を受入。 団体への関心から問合せをいただく場合も多く、当該事業を通じて、広く団体の PR になった。</p> <p>(イ)岩手県立大学アイーナキャンパスとの連携      岩手県立大学と連携し、生涯学習講座の一環として、座学、体験(一戸町・二戸市への探訪会)の全 2 回の講座を開催した。      各回 40 名定員のところ申込者が殺到し、会場・バスの都合で断るほどであった。(講師: 鑑副理事長) 45 名の参加者についても満足度が非常に高く、シリーズ化や続編を望む声もあり、講座開催の可能性や、ニーズを把握することができた。      その他、「盛岡自由大学」の講師紹介や周知協力を行った。</p> <p>説明を受けながら、熱心に学ぶ受講者      (H19.10 岩手県一戸町)</p>	<p>宮城の事務所設置により、内閣府への認証申請が可能になった。      (サポート会員の協力を得て運営予定)</p> <p>5</p> <p>他団体との連携によって活動の幅が広がったため。</p>
------------------------------------	---------------	--	--



### 3 組織図

(平成19年4月1日～平成20年3月31日実行体制)

